

事務事業実績測定調書

事務事業名称	大阪府等受付経由事務(難病に関する事務を除く)										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	保健所保健予防課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標		6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	2014(H26)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	1 大阪府特定疾患に係る医療費の援助に関する規則・大阪府衛生行政事務に係る事務処理の特例に関する条例2 原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律3 石綿による健康被害の救済に関する法律4 森永ひ素ミルク中毒被害者救済事業				
関係補助金名称			サンセット	～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	国や大阪府などの医療費助成制度の申請を希望する市民			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	医療費に要する経済的負担が大きい。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	大阪府などへの医療費助成制度に関する申請が身近な保健所で可能となり、市民の利便性を確保している。				
事業概要	1 肝炎医療費援助制度等の申請書類を受理し大阪府へ進達する。 2 被爆者健康手帳の交付申請や各種申請等を受理し、大阪府へ進達する。大阪府から被爆者一般健康診断を委託されている市内医療機関との連絡調整を行う。 3 石綿による健康被害の救済制度各種申請を受理し、独立行政法人環境再生保全機構へ進達する。 4 ひかり協会(森永ひ素ミルク中毒被害者の会)・国等の協力依頼の窓口となり、枚方市における支援状況等の情報を集約し報告する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
			申請書類等を大阪府へ進達する。				肝炎医療費援助制度等の申請を受理する。			
指標設定	指標説明		申請書類等を大阪府へ進達した割合。 【算出式:進達数/申請受理件数×100】				肝炎医療費援助制度等の申請受理件数。			
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値			単位	%		単位	件		
	目標(見込み)		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績		100	100	100	100	350	350	350	350
達成度		100%				89%				
ロジックモデル②		アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
			申請書類等を大阪府へ進達する。				被爆者健康手帳の交付申請や各種申請等を受理する。			
指標設定②	指標説明		申請書類等を大阪府へ進達した割合。 【算出式:進達数/申請受理件数×100】				被爆者健康手帳の交付申請や各種申請等の受理件数。			
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値			単位	%		単位	件		
	目標(見込み)		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績		100	100	100	100	260	260	260	260
達成度		100%				63%				

ロジックモデル③		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
								独立行政法人環境再生保全機構へ進達する。				石綿による健康被害の救済制度各種申請を受理する。	
指標設定 ③	指標説明					申請書類等を独立行政法人環境再生保全機構へ進達した割合。 【算出式:進達数/申請受理件数×100】				石綿による健康被害の救済制度各種申請の受理件数。			
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					100	100	100	100	2	2	2	2
	実績					100	100	100		2	1	2	
達成度						100%				100%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.68
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額 (千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	5,902	5,814	5,312		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	5,902	5,814	5,312		
	物件費計	21	121	113	120	94.2%
歳出計		5,923	5,935	5,425		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	116	232	164	205	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	3	0	
	歳入計(物件費に充当される特定財源)	116	232	164	205	
一般財源(物件費に充当されるもの)		0	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	申請件数は概ね想定通りであり、受け付けた申請書はすべて適正に進達することができた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も迅速かつ正確な進達事務や報告を行う。

事務事業名称	難病対策事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	保健所保健予防課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標		6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2014(H26)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	●難病の患者に対する医療等に関する法律 ●難病対策要綱●大阪府特定疾患に係る医療費の援助に関する規則 ●大阪府衛生行政事務に係る事務処理の特例に関する条例●地域保健法				
関係補助金名称			サンセット		~
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	特定医療費(指定難病)受給者または、特定疾患医療受給者及び対象者(以下難病患者と記載)			
	サブターゲット	難病患者の家族や療養上の支援に関わる関係機関			
	ターゲットが抱える課題	原因不明かつ希少で長期療養を必要とする難治性疾患であるため、療養上に必要な情報や支援がうけにくい。(状況:指定難病は、333疾患あり、個々の疾患に応じた療養上のニーズを把握し、家族や患者に病状に応じた支援が必要)			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	難病患者が病気の療養を続けながらも、地域で安心して生活を送ることができる				
事業概要	<p>1 特定医療費(指定難病)支給認定申請受付事務(大阪府への経由事務)は、難病の患者に対する医療等に関する法律に基づき、指定難病治療研究の確立と患者・家族の医療費の経済的負担軽減を行う。</p> <p>2 特定疾患医療費助成申請受付事務(大阪府への経由事務)は、難病対策要綱および大阪府特定疾患に係る医療費の援助に関する規則に基づき、特定疾患患者・家族の医療費の経済的負担軽減を行う。</p> <p>3 国が定める難病特別対策推進事業および地域保健法第6条に基づき、医療・介護・福祉の関係機関と連携し、難病患者が地域で安心して療養生活を送れる環境づくりを行う。</p>				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)	アアウトプット(活動結果)				インプット(活動)							
	難病患者が病気の療養を続けながらも、地域で安心して生活を送ることができる。	大阪府へ進達する。				特定医療費(指定難病)支給認定申請等を受理する。							
指標設定	指標説明	難病患者更新受付時アンケートにて「療養生活について相談できる機関がない」と答えた割合				大阪府への進達割合【算出式:進達数/申請受理数×100】				特定医療費(指定難病)支給認定申請書等受理件数【算出式:新規申請数+更新申請数+変更届数】			
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	30未満	20未満	10未満	5未満	100	100	100	100	4,972	4,972	4,972	4,972
	実績	1.48	4.60	10		100	100	100		1,135	5,211	5,618	
達成度	100%				100%				113%				
ロジックモデル②	アウトカム(活動効果)	アアウトプット(活動結果)				インプット(活動)							
	難病患者が病気の療養を続けながらも、地域で安心して生活を送ることができる。	療養状況についてのアンケートや相談内容から保健師が支援基準に基づき在宅療養支援計画を作成する。				特定医療費(指定難病)支給認定申請者に対し、療養状況についてのアンケートや保健師による面接相談を実施する。							
指標設定②	指標説明	難病患者更新受付時アンケートにて「療養生活について相談できる機関がない」と答えた割合				新規・更新申請時のアンケート、事例検討会、ケア会議等による支援方針の決定数				療養状況把握率(新規申請・更新申請時のアンケート回収率)			
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	30未満	20未満	10未満	5未満	3,750	3,750	3,750	3,750	100	100	100	100
	実績	1.48	4.60	10		676	3,886	3,401		100	98.20	79	
達成度	100%				91%				79%				

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル③		難病患者が病気の療養を続けながらも、地域で安心して生活を送ることができる。				難病患者や家族が療養上の不安解消や疾病の理解を深めることができる。				医療講演会や患者家族交流会等を実施する。			
指標設定③	指標説明	難病患者更新受付時アンケートにて「療養生活について相談できる機関がないと答えた割合」				医療講演会・患者家族交流会延べ参加者数(関係機関参加数、東ブロック開催時の市民参加数含む)				医療講演会・患者家族交流会の実施回数(枚方市開催分)			
		単位		%		単位		人以上		単位		回以上	
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	30未満	20未満	10未満	5未満	100	100	100	100	2	2	2	2
	実績	1.48	4.60	10		0	0	6		0	0	1	
	達成度	100%				6%				50%			
ロジックモデル④		難病患者が病気の療養を続けながらも、地域で安心して生活を送ることができる。				難病患者や家族が日常生活上及び療養上の不安解消や疾病の理解を深めることができる。				専門相談の実施。理学療法士、言語聴覚士等の専門職が訪問や面接を行い、在宅療養に必要な医学的指導等を行う。			
指標設定④	指標説明	難病患者更新受付時アンケートにて「療養生活について相談できる機関がないと答えた割合」				専門相談延べ利用者数(難病患者、家族、関係機関含む)				専門相談実施回数(カンファレンス含む)			
		単位		%		単位		人		単位		回	
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	30未満	20未満	10未満	5未満	60	60	60	60	25	25	25	25
	実績	1.48	4.60	10		45	56	68		25	31	43	
	達成度	100%				113%				172%			
ロジックモデル⑤		難病患者が病気の療養を続けながらも、地域で安心して生活を送ることができる。				難病患者や家族が療養生活全般に関する不安を解消し、療養生活を継続できる。				保健師による、療養生活支援の実施。			
指標設定⑤	指標説明	難病患者更新受付時アンケートにて「療養生活について相談できる機関がないと答えた割合」				保健師による訪問又は面接等保健指導数(延べ)				保健師による新規申請・更新申請における面接数			
		単位		%		単位		人以上		単位		人	
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	30未満	20未満	10未満	5未満	343	350	370	390	908	908	908	908
	実績	1.48	4.60	10		147	197	196		642	618	559	
	達成度	100%				53%				62%			
ロジックモデル⑥		難病患者が病気の療養を続けながらも、地域で安心して生活を送ることができる。				難病患者の支援体制が向上する。				難病患者の支援体制の向上を目指し関係機関とのネットワークの充実や研修等を行う。			
指標設定⑥	指標説明	難病患者更新受付時アンケートにて「療養生活について相談できる機関がないと答えた割合」				連携団体数				関係機関連携数(ネットワーク会議、関係機関研修等開催数)			
		単位		%		単位		機関以上		単位		回以上	
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	30未満	20未満	10未満	5未満	12	12	12	12	6	6	6	6
	実績	1.48	4.60	10		12	12	12		3	2	3	
	達成度	100%				100%				50%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	3.12
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	1.85
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	24,324	19,250	24,373		
	会計年度任用職員	781	4,323	5,231		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	25,105	23,573	29,604		
物件費計	966	1,834	2,246	2,281	98.5%	
歳出計	26,071	25,407	31,850			
歳入	国庫支出金	1,006	770	770	770	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	2,895	1,212	2,876	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	1,006	3,665	1,982	3,646	
一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	264	0		

5. 総括的分析

総括的分析	令和4年度においても新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響を受け、継続した難病事業の取り組みが困難であったが、専門相談利用者数の増加や患者家族交流会の開催、ネットワーク会議の開催など、可能な取り組みを進めることができた。アウトカムで設定している「療養生活について相談できる機関がないと答えた割合」の数値が悪化している。これについては、この指標を把握するためのアンケート調査の回収率が低かったこと等の影響も考えられるが、改善に向けた取り組みが必要であると考える。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取り組み方針	人工呼吸器等の高度医療を必要とする在宅難病患者等について、令和5年度より、家族の介護負担軽減や災害時の避難行動の促進を目的とし、レスパイト入院費用助成事業を開始する。利用にあたっては、患者・家族と、主治医や在宅支援に関わる関係機関、受け入れ病院との連絡・調整を図り、スムーズな利用に向けた支援やしきみ作りが必要と考える。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 300

事務事業名称	特定不妊治療費助成事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	保健所保健予防課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	14.安心して妊娠・出産できる環境が整うまち									
	実行計画名	14-1.母子の健康づくりの推進									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業	
事業期間	2014(H26)年度		年度	～	2021(R3)年度	年度まで
根拠法令等	(母子保健医療対策等総合支援事業実施要綱(厚生労働省) 第2の4 不妊に悩む方への特定治療支援事業枚方市特定不妊治療費用補助金交付要綱 (府)不妊に悩む方への特定治療支援事業(素案)					
関係補助金名称			サンセット		～	
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	特定不妊治療(体外受精・顕微授精)以外の治療法によっては妊娠の見込みがないかまたは極めて少ないと医師に診断され、当該治療を受けている夫婦(法律上の夫婦に加え事実上婚姻関係にある夫婦も対象とする。)				
	サブターゲット					
	ターゲットが抱える課題	健康保険適用外の高額な治療費を負担している。				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	費用の不安なく、安心して特定不妊治療を受けることができる。					
事業概要	<p>不妊治療のうち、体外受精及び顕微授精(「特定不妊治療」という。)は、健康保険適用外であるため1回の治療費が高額であり、その経済的負担は重い。妊娠・出産を望む市民に対し、特定不妊治療に要する費用の一部を助成することにより、経済的負担の軽減を図り、安心して妊娠・出産できる環境のひとつとする。</p> <p>令和3年1月、国は、令和4年4月から不妊治療の保険適用を実施することとし、保険適用までの間、所得制限の撤廃など助成措置を大幅に拡充した。これを受け、本市においても新たな国の制度にあわせて助成の拡充を実施した。今般、国は、令和4年度からの保険適用の円滑な実施に向けた経過措置として、現行の助成が円滑に行われるよう予算措置を行うこと、年度をまたぐ1回の治療について助成の対象とすることとした。本市においても、国にあわせた経過措置を講じるもの。</p>					

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		費用の不安なく、安心して特定不妊治療を受けることができる。				特定不妊治療費助成を行う。				特定不妊治療費助成申請を受理する。			
指標設定	指標説明	治療費負担軽減率【算出式:助成金額/助成の対象となった治療費×100】				1件あたりの給付金額				受理件数			
		単位		%		単位		円		単位		件	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	1.40	58	58	58	180,000	180,000	180,000	180,000	482	482	482	482
実績	1.30	66	67		182,082	219,801	210,755		435	786	295		
達成度	116%				117%				61%				

3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	0.88
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.20
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	7,018	3,536	6,875		
	会計年度任用職員	124	865	567		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	7,142	4,401	7,442		
	物件費計	89,448	180,015	62,517	72,148	86.7%
	歳出計	96,590	184,416	69,959		
歳入	国庫支出金	43,596	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	3,126	86,702	31,257	36,165	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	46,722	86,702	31,257	36,165	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	42,726	93,313	31,260	35,983	

5. 総括的分析

総括的分析	特定不妊治療については、これまで健康保険が適用されず、高額な治療にかかる経済的負担の軽減を図ってきたところであるが、令和4年4月に保険適用となったことから、国の制度に則り、保険適用の円滑な移行に向けて、移行期に治療を受けられている方々の治療計画に支障が生じないように、年度をまたぐ1回の治療について経過措置を行った。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	終了
今後の取り組み方針	令和4年度に不妊治療が保険適用となったことから、令和4年度に経過措置を実施し、令和5年度に本事業を廃止する。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 301

事務事業名称	不育症治療費助成事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	保健所保健予防課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	14.安心して妊娠・出産できる環境が整うまち									
	実行計画名	14-1.母子の健康づくりの推進									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2014(H26)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市不育症治療費用補助金交付要綱				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	不育症と診断され、不育症治療を受けている市民。			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	健康保険適用外の高額な治療費を負担している。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	費用の不安なく、安心して不育症治療を受けることができる。				
事業概要	妊娠はするが、流産、死産などを2回以上繰り返す等、結果的に子どもを持ってない「不育症」の夫婦に対し、その検査及び治療費に要した費用のうち健康保険適用外の費用に対して、1年度につき30万円まで助成を行い、安心して妊娠・出産できる環境のひとつとする。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
	費用の不安なく、安心して不育症治療を受けることができる。	不育症治療費の助成を行う。	不育症治療費助成申請を受理する。
指標説明	治療費負担軽減率【算出式:助成金額/助成の対象となった治療費×100】	給付金額	受理件数
	単位 %	単位 円	単位 件
指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
指標数値	目標 (見込み)	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	実績	1.10 98 98 98	2,040,000 2,040,000 2,040,000 2,040,000
達成度	91%	81%	100%

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.27
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,153	2,121	2,109		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	2,153	2,121	2,109		
	物件費計	2,246	2,049	1,652	2,240	73.8%
	歳出計	4,399	4,170	3,761		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	2,246	2,049	1,652	2,240	

5. 総括的分析

総括的分析	指標の達成度については、申請受理件数は前年度と同数で想定どおりであったが、1件あたりの助成対象医療費の増額により、治療費負担軽減率については減少となった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取り組み方針	近年では国の研究事業として新しいエビデンスと日本の不育症事情を反映させた検査・管理指針が示され、また国においては先進医療とされる不育症検査の保険適用を目指した助成制度が創設されるなど不育症治療にかかる情勢が変化してきているため、助成内容の見直しを進めるとともに不育症治療費助成制度を必要な方が給付を受けることができるよう、引き続き事業内容の周知に努める。

事務事業名称	小児慢性特定疾病医療費支給認定に関する事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	保健所保健予防課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	2014(H26)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	児童福祉法等				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称	小児慢性特定疾病審査会				
事業対象	メインターゲット	小児慢性特定疾病にかかっている児童等の保護者			
	サブターゲット	小児慢性特定疾病にかかっている児童等			
	ターゲットが抱える課題	小児慢性特定疾病にかかっていることにより、療養のため多額の費用を要する。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	療養費の負担が軽減され、必要な医療を受けることができる。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 小児慢性疾病の国が定めた基準に基づき、小児慢性特定疾病の治療研究事業を行うことで、その医療の確立と普及を図り、併せて患者家族の医療費の負担軽減にも資することを目的として、医療費の援助を行う。 小児慢性特定疾病医療費支給認定にあたり、疾病の状況が国が定める認定基準に該当しているか審査を行うため、枚方市小児慢性特定疾病審査会を開催する。 児童福祉法の規定に基づき、小児慢性特定疾病指定医の指定および指定小児慢性特定疾病医療機関の指定を行う。 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
			承認者に医療受給者証を発行する。				小児慢性特定疾病医療費支給認定申請書を受理する。			
指標設定	指標説明		申請書受理数に対する医療受給者証を発行した割合。 【算出式:医療受給者証の発行数 /申請書受理数×100】				小児慢性特定疾病医療費支給認定申請書の受理件数			
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)		98	98	98	98	500	500	500	500
	実績		98	97	98		176	460	445	
達成度			100%				89%			

3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	1.34
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.53
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	6.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	9,490	8,564	10,468		
	会計年度任用職員	2,784	1,699	1,694		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	496	956	956		
	人件費計	12,770	11,219	13,118		
物件費計	1,373	1,888	1,532	1,642	93.3%	
歳出計	14,143	13,107	14,650			
歳入	国庫支出金	566	788	571	566	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	566	788	571	566	
一般財源（物件費に充当されるもの）	807	1,100	961	1,076		

5. 総括的分析

総括的分析	指標の受理件数について、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により受給者証の有効期間を1年自動延長したため、更新申請受理件数が減少したが、令和3年度は更新手続きが必要となり申請件数が増加した。令和4年度は、令和3年度からほぼ横ばいの数値となっており、必要な更新手続きは概ね実施できていると考えられる。受給者証発行割合については、国の認定基準を満たさず不承認となったものを除き、交付することができた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も申請手続きから受給者証交付までの手続きを円滑に進める。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 726

事務事業名称	感染症対策事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	保健所保健予防課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	7.公衆衛生や健康危機管理が充実したまち									
	実行計画名	7-1.感染症対策の推進									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2014(H26)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律、児童福祉法				
関係補助金名称	結核対策費補助金		サンセット	-	～
関係附属機関名称	枚方市感染症診査協議会 枚方市感染症発生动向調査委員会				
事業対象	メインターゲット	指定感染症に感染したまたは疑いのある人、感染症の集団発生事例で感染したまたは疑いのある人			
	サブターゲット	指定感染症等の感染症に感染していない人 結核の好発年齢である60才以上の高齢者や障害者が居住する施設、私立高校、私立大学			
	ターゲットが抱える課題	適切で迅速な診断、治療、感染対策、疫学調査等が受けられないことにより、感染症をまん延させるおそれがある。 感染症とその予防策に関する正しい知識や情報の不足から、感染症にかかり健康を損なうおそれがある。 結核の定期健康診断が実施されないことにより、結核患者の発見が遅れ、結核がまん延するおそれがある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	枚方市内にいる人が指定感染症等に感染しても適切で迅速な診断、治療、感染対策、疫学調査等を受けことができ、感染症のまん延を予防するとともに、感染症とその予防策に関する正しい知識や情報を持ち、感染症を予防でき健康に過ごすことができる。				
事業概要	<p>①感染症発生动向調査事業：指定感染症(全数把握、定点把握)について、医療機関から保健所への報告を受け、オンラインシステムを用いて国への報告を行うとともに、枚方市感染症発生动向調査委員会を開催し、感染症の発生情報の正確な把握と分析、その結果の迅速な提供・公開により感染症に対する有効かつ確かな対策を図る。</p> <p>②結核検診事業：国の結核登録者情報システムに登録されている患者に対する管理検診及び結核患者と接触のあった接触者で健康診断が必要と総合的に評価された者に対する接触者健康診断を行う。</p> <p>③結核患者治療成績評価推進事業：結核患者の全事例の治療成績評価を通じて、外部評価検討者とともに現行対策の課題を明確にし、対応策を検討する。</p> <p>④HIV等検査事業：HIV等の性感染症検査を実施し、早期発見、発症・重症化予防及び感染拡大の防止を図るとともに、行動変容を促す。</p> <p>⑤感染症予防啓発事業：感染症についての正しい情報と知識を普及し、適切な予防行動の確立を図り、感染症患者に対する偏見差別を失くす。</p> <p>⑥感染症医療費公費負担制度：法に基づく対象疾患について、医療費の全額または一部を公費で負担する。枚方市感染症診査協議会を開催し、医療費助成の承認を行う。</p> <p>⑦結核対策費補助金：法に基づく結核の定期健康診断を行う学校または施設(国、都道府県又は市町村が設置する学校又は施設を除く)の設置者に対し、健康診断費用の一部を補助する。</p>				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	感染症のまん延を予防するとともに、感染症とその予防策に関する正しい知識や情報を持ち、感染症を予防でき健康に過ごすことができる。				アウトプット (活動結果)	結果をオンラインシステムを用いて国へ報告する。				インプット (活動)	法で類型化された疾患について、医療機関から保健所への報告(全数把握、定点把握)を受ける。			
	指標説明	結核の人口10万人対罹患率				法で定められた期間内に届出されなかった発生届(全数把握)の件数				管内医療機関への指定感染症の届出に関する情報提供・周知回数					
指標設定	指標種類	減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)	11.50	11	10.50	10	0	0	0	0	1	1	1	1		
	実績	8.80	8.30	7.60		0	36	0		2	5	4			
達成度	128%				100%				400%						

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル②		感染症のまん延を予防するとともに、感染症とその予防策に関する正しい知識や情報を持ち、感染症を予防でき健康に過ごすことができる。				市民が検診を受ける。				結核検診を実施する。			
指標設定②	指標説明	結核の人口10万人対罹患率				結核管理検診の受診率				所内結核検診の開催回数			
		単位		%		単位		%		単位		回	
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績	11.50	11	10.50	10	100	100	100	100	24	24	24	24
達成度	128%				96%				100%				
ロジックモデル③		感染症のまん延を予防するとともに、感染症とその予防策に関する正しい知識や情報を持ち、感染症を予防でき健康に過ごすことができる。				結核患者の全事例の治療成績評価を通じて、外部評価検討者とともに現行対策の課題を明確にし、対応策を検討する。				結核患者治療成績評価検討会を開催する。			
指標設定③	指標説明	結核の人口10万人対罹患率				結核患者(全患者)の治療失敗・脱落率 (目標値:5%以下(国・府基準))				結核患者治療成績評価検討会の開催回数			
		単位		%		単位		%		単位		回	
	指標種類	減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績	11.50	11	10.50	10	5	5	5	5	4	4	4	4
達成度	128%				200%				100%				
ロジックモデル④		感染症のまん延を予防するとともに、感染症とその予防策に関する正しい知識や情報を持ち、感染症を予防でき健康に過ごすことができる。				市民が検査を受ける。				HIV等検査を実施する。			
指標設定④	指標説明	結核の人口10万人対罹患率				HIV等検査受検者数				HIV等検査の実施回数 (年末年始祝日除く毎週火曜日実施)			
		単位		%		単位		人		単位		回	
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績	11.50	11	10.50	10	470	480	490	500	48	51	49	52
達成度	128%				75%				100%				
ロジックモデル⑤		感染症のまん延を予防するとともに、感染症とその予防策に関する正しい知識や情報を持ち、感染症を予防でき健康に過ごすことができる。				市民が啓発イベント等に参加し、正しい情報や知識を身に着ける。				感染症についての正しい情報と知識を普及する。			
指標設定⑤	指標説明	結核の人口10万人対罹患率				予防啓発事業参加者数				予防啓発事業実施回数 (健康教育・啓発キャンペーン等)			
		単位		%		単位		人		単位		回	
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績	11.50	11	10.50	10	2,650	2,700	2,750	2,800	47	48	49	50
達成度	128%				0%				27%				

ロジックモデル⑥		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		感染症のまん延を予防するとともに、感染症とその予防策に関する正しい知識や情報を持ち、感染症を予防でき健康に過ごすことができる。				医療費の助成を行う。				法に基づく対象疾患について医療費助成の申請を受理する。			
指標設定⑥	指標説明	結核の人口10万人対罹患率				結核医療費公費申請件数のうち、枚方市感染症診査協議会で診査された件数の割合				結核医療費公費負担申請件数			
		単位		%		単位		%		単位		件	
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	11.50	11	10.50	10	100	100	100	100	100	100	100	100
	実績	8.80	8.30	7.60		100	100	100		113	133	100	
	達成度	128%				100%				100%			
ロジックモデル⑦		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		感染症のまん延を予防するとともに、感染症とその予防策に関する正しい知識や情報を持ち、感染症を予防でき健康に過ごすことができる。				結核定期健康診断費用の一部を補助する。				法に基づく結核の定期健康診断について補助金交付申請を受理する。			
指標設定⑦	指標説明	結核の人口10万人対罹患率				結核対策補助金交付件数				結核対策費補助金交付申請件数			
		単位		%		単位		件		単位		件	
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	11.50	11	10.50	10	20	20	20	20	20	20	20	20
	実績	8.80	8.30	7.60		19	27	27		19	27	27	
	達成度	128%				135%				135%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	10.59
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	2.92
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	11.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	74,247	178,078	82,729		
	会計年度任用職員	6,752	22,674	10,200		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	1,710	1,634	1,330		
	人件費計	82,709	202,386	94,259		
	物件費計	332,733	1,762,429	1,674,213	2,361,847	70.9%
	歳出計	415,442	1,964,815	1,768,472		
歳入	国庫支出金	157,641	520,574	739,103	793,898	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	3,104	338,558	467,815	637,671	
	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	3,534	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
		歳入計(物件費に充当される特定財源)	160,745	859,132	1,210,452	1,431,569
	一般財源(物件費に充当されるもの)	171,988	903,297	463,761	930,278	

5. 総括的分析

総括的分析	前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症への対応で多くの業務量を要したが、体制の見直しや業務の効率化を図り、その他の感染症業務を滞ることなく実施でき、結核管理検診の受診率やHIV等検査受診者数は回復傾向が見られた。感染症予防啓発事業については、対面での実施はなかったものの、デジタルサイネージやSNSを用いた情報発信等へと実施方法の見直しを図った。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	新型コロナウイルス感染症の五類感染症への移行に伴い、体制の見直しや周知啓発に取り組み、スムーズな移行を図っていく。また、改正感染症法に基づく感染症予防計画、健康危機対処計画の策定を進め、保健所の感染症対策の機能強化に取り組む。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 870

事務事業名称	保健予防課運営事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	保健所保健予防課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	保健所保健予防課課員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	事務を円滑に行う必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	事務が円滑に行えている。				
事業概要	課の運営業務				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明													
	指標種類													
	指標数値	目標 (見込み)												
		実績												
	達成度													

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.45
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.02
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	11,404	11,236	11,327		
	会計年度任用職員	0	29	57		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	11,404	11,265	11,384		
	物件費計	516	386	412	1,834	22.5%
	歳出計	11,920	11,651	11,796		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	516	386	412	1,834	

5. 総括的分析

総括的分析	文書の收受・発送に関する事務、物品の契約・管理業務、庁内外の照会回答事務、職員の給与・服務等に関する事務、公用車及び公用自転車の維持管理業務等について滞りなく執行した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	適正かつ円滑に事務を遂行することで、課全体の各業務が滞りなく執行できるよう努める。